

理科部門

総評

今回は、身近な疑問から環境問題まで、様々なテーマに興味を持って取り組んだ作品が寄せられました。着眼点はいくつもの「調べるだけ」で終わっている作品や、丁寧にまとめられていても「体験記」のような作品など、今回によって「何かわかるか」という結論を示すことができていない作品が多く残念です。その中でも、今回の受賞作品は、目的を見失わずに実験・観察の各段階で「一つひとつ」をいねいに積み重ねた結果がまとめられている秀作ばかりです。今後は、自ら見つけたテーマが活きる作品が増えることを期待します。

賞 文部科学大臣奨励賞

大発見
すずしい部屋のひみつ

岐阜県 関市立富岡小学校 4年

遠藤 美帆

研究の目的をはっきりと決め、計画をしっかり立てて測定から実験までをきっちりと行っており、科学の基本に沿った大作です。家での測定から始まって、自分で装置を作り、徹底して条件別に実験を行なっている点が素晴らしいです。理科の授業をきかけて、4年生の学習内容である「ものあたりの量」について確かめることができています。実験の過程や条件などについて視覚的にわかりやすく示されており、最終的な研究結果を関係図にまとめているところが、見る人に強く訴える作品です。

4冊で構成されている力作でした。

賞 子どもの文化・教育研究所 理事長賞

時計の研究

24時間を計れる漏刻時計作りに挑戦

東京都 白百合学園小学校 5年

友田 英里

昨年に続いて2年連続の入賞、生活科も含めると5年間で4回入賞している常連の友田さんです。今までは植物についての作品が多かったのですが、今回は全く違う取り組みでの受賞となりました。

様々な時計の比較から、日本最古の時計といわれる漏刻時計の作製など、持ち前の観察力と探究心・行動力、そしてまとめる編集力が十分に発揮された作品でした。

振り子時計や砂時計など様々な時計を比較しています。

賞 全国中学校理科教育研究会 会長賞

トビくまの習性をさぐる

山口県 岩国市立瀬中学校 1年

金子 一平

身近な「ムカデ」について興味を持ち、いろいろな角度から実験・観察を行なった作品です。一平さんが独自に考えた実験を条件を変えて行っており、試行錯誤のあとがみられます。

今回の課題を見つづける事ができており、中学生らしい優れた作品です。



独自の実験が目玉を引きます。

賞 日本初等理科教育研究会 理事長賞

近視とその回ふく

東京都 白百合学園小学校 4年

水口 綾穂

水口さん自らを観察対象にした、ユニークな研究での受賞となりました。自分の視力がどのように変化しているのかを、20日間わたりの毎日観察しています。最後には視力の改善がみられ、見事実験にも成功しています。



賞 全国小学校理科研究協議会 会長賞

身近なものの固さ調べ
「どうあそびの不思議」

福岡県 越前市立武生南小学校 5年

佐藤 ひろ乃

実験の前段階として、自分で予測した課題に対して「つひとつ丁寧」に取り組み、自分なりに解決しながら進めているところが評価の対象となりました。実験結果の応用にまで考えを進めているところが素晴らしいです。



賞 中央出版株式会社 社長賞

卵の冷たさはなぜ売っていないの？

神奈川県 茅ヶ崎市立緑が浜小学校 4年

梅谷 美友

「だしか」に思わせるタイトルで「なるほど」と思わせる、よく調べられた作品でした。様々な発見をした様子がわかりやすくまとめられています。

今後、梅谷さんならではの着眼点と行動力でのような発見をしていくのが楽しみです。



発想がユニークな研究でした。